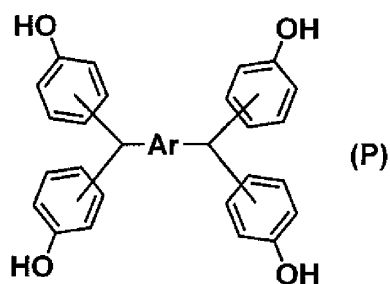


請求の範囲

- [請求項1] 半導体基板からなる第1基体と、
光透過性の支持基板からなる第2基体と、
上記第1基体と上記第2基体との間に、接着層及び剥離層とを備え、
上記剥離層が、式(P)で表される多核フェノール誘導体と、架橋剤と、酸発生剤及び酸の少なくともいずれか一方とを含む剥離剤組成物から得られる膜であることを特徴とする積層体。

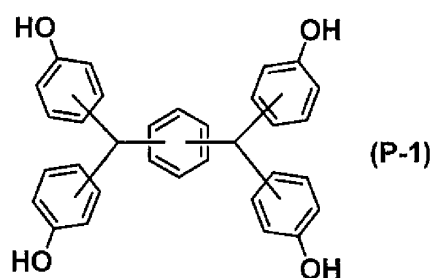
[化1]



(式中、Arは、アリーレン基を表す。)

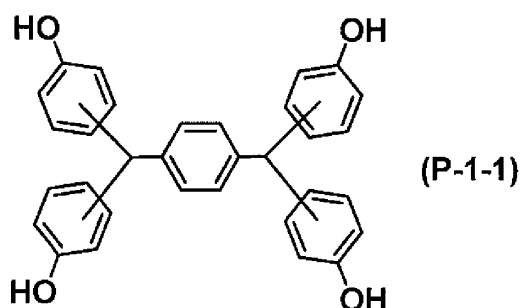
- [請求項2] 上記多核フェノール誘導体が、式(P-1)で表される請求項1記載の積層体。

[化2]



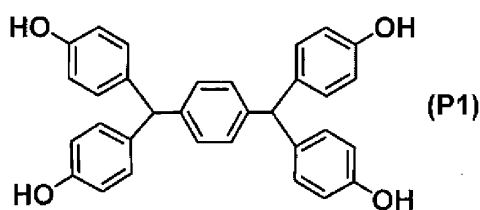
- [請求項3] 上記多核フェノール誘導体が、式(P-1-1)で表される請求項2記載の積層体。

[化3]



[請求項4] 上記多核フェノール誘導体が、式（P 1）で表される請求項3記載の積層体。

[化4]



[請求項5] 上記架橋剤が、架橋形成基を有するフェノール系架橋剤、架橋形成基を有するメラミン系架橋剤、架橋形成基を有する尿素系架橋剤及び架橋形成基を有するチオ尿素系架橋剤から選ばれる少なくとも1種を含む、請求項1～4のいずれか1項記載の積層体。

[請求項6] 上記架橋剤が、架橋形成基を有するフェノール系架橋剤を含む請求項5記載の積層体。

[請求項7] 上記剥離剤組成物が、酸を含む請求項1～6のいずれか1項記載の積層体。

[請求項8] 上記酸が、アリールスルホン酸、アリールスルホン酸の塩、アリールカルボン酸、アリールカルボン酸塩、鎖状又は環状アルキルスルホン酸、鎖状又は環状アルキルスルホン酸の塩、鎖状又は環状アルキルカルボン酸及び鎖状又は環状アルキルカルボン酸から選択される少な

くとも 1 種を含む請求項 7 記載の積層体。

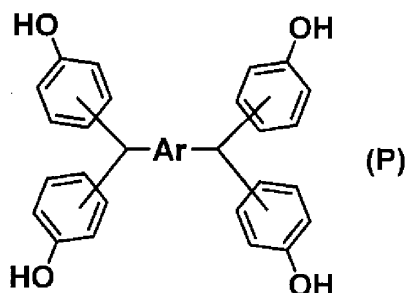
[請求項9] 上記接着層が、シリコーン系接着剤、アクリル樹脂系接着剤、エポキシ樹脂系接着剤、ポリアミド系接着剤、ポリスチレン系接着剤、ポリイミド接着剤及びフェノール樹脂系接着剤から選ばれる少なくとも 1 種を含む接着剤成分 (S) を含む接着剤組成物を用いて得られた膜であることを特徴とする請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の積層体。

[請求項10] 上記接着剤成分 (S) が、シリコーン系接着剤を含む請求項 9 記載の積層体。

[請求項11] 上記シリコーン系接着剤が、ヒドロシリル化反応により硬化するポリシロキサン成分 (A) を含む請求項 10 記載の積層体。

[請求項12] 式 (P) で表される多核フェノール誘導体と、架橋剤と、酸発生剤及び酸の少なくともいずれか一方とを含む剥離剤組成物。

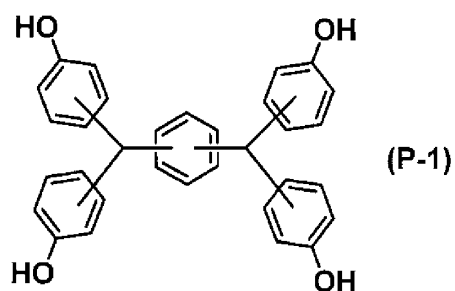
[化5]



(式中、Ar は、アリーレン基を表す。)

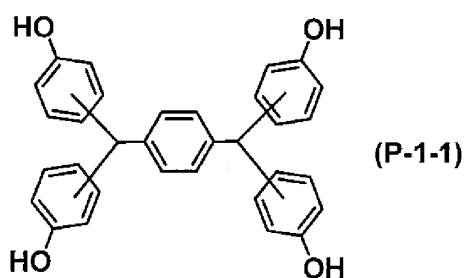
[請求項13] 上記多核フェノール誘導体が、式 (P-1) で表される請求項 12 記載の剥離剤組成物。

[化6]



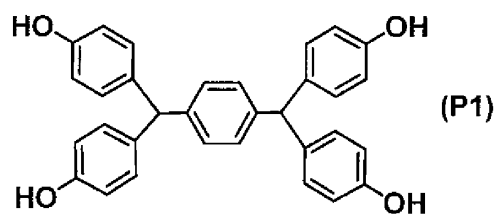
[請求項14] 上記多核フェノール誘導体が、式（P-1-1）で表される請求項13記載の剥離剤組成物。

[化7]



[請求項15] 上記多核フェノール誘導体が、式（P1）で表される請求項14記載の剥離剤組成物。

[化8]



[請求項16] 上記架橋剤が、架橋形成基を有するフェノール系架橋剤、架橋形成基を有するメラミン系架橋剤、架橋形成基を有する尿素系架橋剤及び架橋形成基を有するチオ尿素系架橋剤から選ばれる少なくとも1種を

含む、請求項 12～15 のいずれか 1 項記載の剥離剤組成物。

[請求項17] 上記架橋剤が、架橋形成基を有するフェノール系架橋剤を含む請求項 12～16 のいずれか 1 項記載の剥離剤組成物。

[請求項18] 上記剥離剤組成物が、酸を含む請求項 12～17 のいずれか 1 項記載の剥離剤組成物。

[請求項19] 上記酸が、アリールスルホン酸、アリールスルホン酸の塩、アリールカルボン酸、アリールカルボン酸塩、鎖状又は環状アルキルスルホン酸、鎖状又は環状アルキルスルホン酸の塩、鎖状又は環状アルキルカルボン酸及び鎖状又は環状アルキルカルボン酸から選択される少なくとも 1 種を含む請求項 18 記載の剥離剤組成物。

[請求項20] 半導体基板からなる第 1 基体と、光透過性の支持基板からなる第 2 基体と、上記第 1 基体と上記第 2 基体との間に、接着層及び剥離層とを備える積層体の上記剥離層を形成するために用いられる請求項 12～19 のいずれか 1 項記載の剥離剤組成物。